

読売新聞 きょう（1月27日）のイチ押し

一面 コロナ「5類」は5月8日から

政府は26日、新型コロナウイルスの感染症法上の分類について、5月8日に「2類相当」から季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を固めました。27日の新型コロナウイルス感染症対策本部で決めます。国内のコロナ感染確認から3年。社会経済活動の大幅緩和に踏み出します。

- ★移行準備や周知など一定期間が必要となり、人の移動が増える大型連休中の感染拡大を防ぐため、移行は連休明けが適切だと判断しました。
- ★政府はマスク着用の目安も緩和します。専門家の意見も踏まえて個人の判断を尊重し、屋外に加えて屋内でも一律に着用を求めることはせず、高齢者施設などでは着用を求めるなど、メリハリを付けた対応を促す方向です。

一面・社会面 闇バイト強盗 14都府県の事件関与か

関東など各地で相次いでいる強盗事件で、同一グループの関与が疑われる強盗や窃盗などが昨年以降、14都府県で発生していることが警察庁への取材でわかりました。新たに群馬、岡山、福岡県などで被害が判明。警察庁は27日、14都府県警と捜査会議を開き、情報共有と連携を強化します。警察庁の露木康浩長官は26日の記者会見で、「首謀者の検挙が重要だ。緊密な連携のもと、迅速な捜査を進める」と述べました。

捜査関係者によると、事件の共通点は、SNSで高額報酬をうたう「闇バイト」の募集に応じた実行役が複数人で住宅や店舗に押し入り、住人を縛るなどして金品を奪う手口。「ルフィ」や「キム」などと名乗る指示役がフィリピンから通信アプリ「テレグラム」で指示を出している可能性があります。

他紙と比べて

3月開催の「2023ワールド・ベースボール・クラシック」の日本代表登録30選手が決まり、一面とスポーツ面で「ドリームチーム」を紹介しています。日系人で初めて選ばれたラズ・ヌートバー選手（米カージナルス）については、母・久美子さんへの取材で人となりをつづっています。日本語はあまり話せないものの、トンカツやラーメンなどは大好物。

「JAPAN」のユニホームに憧れていたといい、9歳だった2006年、夏の甲子園で投げ合った駒大苫小牧・田中将大、早稲田実業・斎藤佑樹両投手らが米国遠征した際に交流し、笑顔で写真に納まっています。